

令和3年度 学校評価 『前期・後期の比較とまとめ』

項目	●色 教師アンケート項目 ●色 生徒アンケート項目 ●色 保護者アンケート項目		■ そう思う ■ ややそう思う ■ ややそう思わない ■ そう思わない *グラフ内の合計が100を超える場合もあります。		肯定 否定 割合		総合評価		
	番号	具体的な評価内容	自己評価割合 (%)		肯定 %	否定 %			
Ⅰ 教育目標について	①	学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。	70	30	100	0	A		
			64	36	100	0	A		
	②	若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。	54	43	97	3	A		
			56	44	100	0	A		
	③	目指す生徒像	「よく学び、工夫する生徒」を育成している。		43	57	100	0	B
					49	51	100	0	B
	④		「心豊かで、助け合う生徒」を育成している。		46	54	100	0	B
					67	33	100	0	A
	⑤		「健康で、たくましい生徒」を育成している。		54	46	100	0	A
					44	56	100	0	B
⑥	「意欲を持ち、やり抜く生徒」を育成している。		49	51	100	0	B		
			54	44	97	3	A		
考察	校長の経営方針に基づき、学校教育目標や目指す生徒像に向けて、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる。「若草中学びの作法」をはじめ、「学びの共同体」「山梨スタンダード」「ICT活用」など、学力向上に向けた取組が行われている。また、生徒の自主自立を重んじた育成（生徒会活動）が行われており、「SDGs活動」、「若草みまもり隊」、「あいさつ運動」、「地域貢献活動（地域清掃）」など地域につながる活動を通して、「信頼される学校」を全校一丸となって目指している。コロナウイルス感染症対策として各行事が削減傾向にある中であるが、様々なアイデアを出し、縮小という形ではあるが学園祭等、生徒も保護者も満足を得られる中、成功裏に行事を終えることができた。								
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策のために制限される中においても目標達成のために今後も全職員で工夫を凝らす。 ・人事評価や一人一実践、一校一実践における改善点による各自の教師としての質を高める。 ・学校行事や特別活動におけるPDCAサイクルを意識した取り組みを行う。 ・学校評価の各アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の改善に役立てる。 								
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭の成功など、生徒も教師もよくやっていると思います。小中一貫も益々進んでいくものと思います。成果を期待しています。 ・新型コロナウイルスの影響で、今まで行っていた行事が生徒たちはできなくなっている中で、少しでも生徒の関心を喚ぶため、世界的に課題となっているSDGs活動を取り入れ、生徒自身に考えさせて貧困や飢餓、地球環境に対して知ってもらおうなどといった教育は親目線でもとても良いものだと感じました。 								
Ⅱ 校務分掌について	①	職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。	70	27	97	3	A		
			64	36	100	0	A		
	②	自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。	51	41	92	8	A		
			55	45	100	0	A		
	③	分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。	57	43	100	0	A		
			50	50	100	0	A		
	④	管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。	59	41	100	0	A		
			77	18	95	5	A		
	⑤	職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。	65	35	100	0	A		
			56	41	97	3	A		
考察	総合評価はおおむね良好である。②について前期は、特に1年目の先生方のコミュニケーション不足や先が見えない不安の表れと思われたが、改善されている。④について、毎月全施設の管理責任者による安全点検が行われおり、安全確保は充分できている。今回一斉による避難訓練により、多くの先生方がかかわりを持ったことや防災頭巾や避難経路等の災害等、緊急時への対応がさらに意識できた成果と考える。⑤について、2学期以降は生徒行事やICT活用に係ることが多く、分掌上どうしてもかかわりが弱くなってしまふ職員の表れだと思われる。								
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教師一人一人のさらなる学校教育への主体的な参加。（コミュニケーション・ミドルリーダー） ・管理職、教務主任、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。（運営委員会） 								
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・②が後期改善されたことは素晴らしい。これからも職員が主体的に取り組んでいくことを期待します。 ・生徒の手本となり、たくさんのことを教えていく中で、先生方同士がしっかりとコミュニケーションがとれて、良い関係が築けていけることが前期よりも改善できてよかったと思う。 								

Ⅲ 学習指導・進路指導について

①	基礎・基本の定着を図る授業を行っている。		97	3	A
			100	0	A
生11	先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。		96	4	A
			96	4	A
保11	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。		89	11	B
			89	11	B
②	生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。		100	0	B
			97	3	A
生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		96	4	A
			96	4	A
保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		87	13	B
			87	13	B
③	研究主題を意識した「学び合い」のある授業を実践している。		94	6	B
			92	8	B
生12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		96	4	A
			95	5	A
保12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		89	11	B
			90	10	B
④	少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。		97	3	B
			92	8	B
生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		96	4	A
			96	4	A
保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		87	13	B
			87	13	B
⑤	指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。		100	0	B
			100	0	B
生14	先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。		94	6	A
			93	7	A
保14	先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。		92	8	B
			93	7	B
⑥	生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。		91	9	B
			95	5	B
考察	<p>教師の自己評価である①②③④⑤に対して、生徒のアンケート結果（生11～生13）は前期・後期ともに95%以上、生14も90%以上の全てA評価となっており、生徒達の満足度や教師との信頼関係が構築されていることがうかがえる。保護者の評価内容においても、前期、後期ともに肯定評価が85%を上回り、保護者における満足度や教師との信頼関係も構築されていると考えられる。</p>				
改善	<ul style="list-style-type: none"> 生徒達からすべてA評価が付いた。今後も授業づくりを大切にし、生徒との信頼関係を深める。（全職員） テスト前の学習会等、補習授業等の計画（各学年） 生徒の良い点を多く見つけて評価に生かし、保護者との信頼関係を築く。（全職員） 				
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や保護者との信頼が構築されていることは素晴らしいと思いますが、授業を中心とした学習指導は教師の本務中の本務ですので、今後も向上心を忘れずに取り組んでください。 生徒と教師が良い信頼関係を築くことができ、生徒が理解しやすい授業であったり、評価だったり、今後も引き続き生徒と良い関係を築いていき、良い学校生活を送ればと思います。 				

IV 生徒指導・道徳指導について

①	生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。	81 74	19 26	0 0	100 100	0 0	A A
生15	先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。	59 64	33 27	7 7	92 91	8 9	A A
保15	先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれていると思いますか。	41 45	50 42	6 10	91 87	9 13	B B
生16	心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	50 56	31 28	13 11	82 84	18 16	A A
保16	お子さんは、心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	32 36	45 41	14 15	77 77	23 23	C C
②	基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。	61 66	39 34	0 0	100 100	0 0	A A
生8	あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	46 51	36 33	14 12	82 85	18 15	B A
保8	お子さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	36 40	44 40	16 15	80 80	20 20	B B
③	一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。	61 66	39 34	0 0	100 100	0 0	A A
④	生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。	54 55	43 39	3 5	97 95	3 5	A A
⑤	道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳の実践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。	44 37	53 63	3 0	97 100	3 0	B B
生17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	66 70	30 27	3 2	96 97	4 3	A A
保17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	40 41	52 50	6 7	92 92	8 8	B B
⑥	不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。	67 71	33 29	0 0	100 100	0 0	A A
考察	①より生徒一人一人を大切にしながら対応している教師の姿がうかがえる。また生15、保15からも肯定評価90%以上でA評価をいただくなど、学校と家庭との信頼関係が構築できていると考えられる。また本校では県指定を受け学年担任制を実施しており、朝の会、帰りの会、道徳など、担任以外の先生がローテーションで行っている。生16、保16について成果を高めてきているが、今後も生徒の居場所やSOS発信がしやすい生徒理解に関する環境づくりを進める必要がある。⑥いじめは絶対に許さない姿勢を教職員で共有し、早期発見・早期対応に努めている。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 今後も一人一人ひとりの生徒を大切にされた対応を続けていく。（生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化） チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。（学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC等関係職員） 学年担任制、委員会や部活動など、あらゆる場面で生徒理解に努め、相談しやすい雰囲気をつくる。（生徒指導主事、全職員） 						
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導には様々なケースがあり、大変だと思いますが、連携しながらチームで取り組んでいると思います。継続していきましょう。 生徒に寄り添った生活を行っていると思うが、保護者から先生方に相談事できないと感じられるので、積極的に二者懇談を増やしたり、生徒とコミュニケーションをとっていき、生徒または保護者と良い関係を築けるよう努力していきましょう。 						
①	生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。	42 53	58 47	0 0	100 100	0 0	B A
②	さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。	50 55	50 42	0 0	100 97	0 3	A A

V 特別活動 について	生18	学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。	66	28	4	2	94	6	A	
			70	25	3	2	95	5	A	
	保18	子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。	30	52	13	5	82	18	B	
			34	47	16	4	80	20	B	
	③	朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。	69	29	3	0	97	3	A	
			61	32	8	0	92	8	A	
	④	充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。	50	50	0	0	100	0	A	
			50	45	5	0	95	5	A	
	考察	本年度もコロナウイルス感染症防止のため、特に学園祭では縮小されるなかでの開催となった。そんな中でも生徒評価が高評価となっている。先生と生徒が丸となって、制限のある中を工夫し合って取り組んだ、信頼関係の証とも思われる。保護者においても参観制限を理解、協力していただく中、高評価となったことはありがたいことである。朝読書は今年で8年目となる活動である。一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートすることは、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。								
	改善	・各行事の目的や意義、取り組み方を全職員で共通で確認をする。(各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む) ・学校での活動の様子が保護者に伝わるよう各種たより、HP・動画配信の充実に取り組む。(各種たよりの発行者、ICT担当)								
学校関係者 評価委員会 意見	・新型コロナウイルスの中での学園祭を開催できたこと、生徒自身も良い思い出をつくることができたとと思う。また、コロナの影響で保護者が学校の様子を目にする時間が減ったので、HPを上手く活用し、多くの人が学校の様子を知ることができる取り組みはとても良いと思う。									
VI 家庭・地域との 連携 について	①	地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。	61	36	3	0	97	3	A	
			50	45	5	0	95	5	A	
	②	さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。	39	53	8	0	92	8	B	
			39	50	11	0	89	11	B	
	③	学校・学年・学級だより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。	47	44	8	0	92	8	B	
			45	47	8	0	92	8	B	
	生19	学校は、いろんなたよりやホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。	49	41	8	2	90	10	B	
			51	39	8	2	90	10	A	
	保19	学校は、各種たよりやホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。	33	51	13	3	84	16	B	
			40	46	9	4	87	13	B	
考察	日頃より、地域や保護者の声に耳を傾け、教育課程に反映する教師の姿がうかがえる。学園祭も縮小されるなかであるが、保護者にも参観していただくなか開催することができた。文化部門では、生徒の頑張りに感動した多くの意見をいただくことができた。また、強歩大会においても距離を縮小するなかではあるが、多くの保護者が沿道に立ち、安全確保や応援に御協力をいただき大変感謝している。参観できなかった家族の方々のために、CATVやYouTubeなど上手く活用し、生徒の頑張りを知らせることができた。また、小中連携で行った地域貢献活動(各地区清掃)では、地域の方から感謝されるなど、生徒の頑張りを理解していただく機会となった。									
改善	・保護者や地域の方と意欲的にコミュニケーションを図る(職員の意識化) ・地域連携を視野に入れた行事の再検討を行う。(教務主任、生徒会顧問) ・地域コーディネーターとの連携を図り、地域人材の活用(教頭)									
学校関係者 評価委員会 意見	・小中連携と地域連携を上手くリンクさせながらやっていくのが良いと思います。 ・PCを利用し、どこにいても生徒とコミュニケーションをとることができたり、すぐに情報を共有できる取り組みや強歩大会での地域との協力は、今後も続けていってほしいと思います。									
VII +	①	学校へ来ることが楽しかった。	30	62	8	0	92	8	B	
			38	49	10	4	87	14	B	
	生1	あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。	56	31	8	4	88	12	A	
			60	31	7	2	91	9	A	
	保1	お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。	60	32	6	2	93	7	A	
			64	26	7	3	90	10	A	
	②	授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。	68	32	0	0	100	0	A	
		62	31	8	0	92	8	A		

目 身 と 職 場 に し て	③	子供たちに信頼される教師であった。	16	76	80	92	8	B
			23	74	80	97	3	B
	④	教師としての力量を高めることができた。	41	54	50	95	5	B
			36	64	60	100	0	B
	⑤	教師集団として、一つにまとまることができた。	35	59	5	95	5	B
			44	46	8	90	12	B
考察	職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を越えて話が飛び交うことも多い。しかし、中学校では職員が顔をそろえて話ができるのは、部活動後の遅い時間になってしまう。そんな中、生徒の情報交換を行うため、遅い時間まで労を惜みずに取り組んでいる。職員の横や縦のコミュニケーションがより積極的に行われており、ここ数年大きく改善された。しかし、後期①と⑤の否定意見が若干多くなってしまった。また、生1の「楽しく登校しているか」の否定意見も12%から9%に減少したとはいえ、まだ40名ほどになる。一人も取り残すことなく配慮していくことが大切である。							
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解のため横縦の日常的な情報交換を大切にする。(全職員) ・教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。(全職員) ・働き方改革により、教師の負担減をすすめる(管理職 全職員) 							
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・⑤の評価が若干下がってしまったことは残念であるが、情報交換を上手く行いながら頑張ってください。 ・先生の一部の方が学校に来ることがあまり楽しくないと思いつつながら仕事をしていることが少し目についた。もっと先生方が仕事のしやすい環境づくりや先生同士もコミュニケーションをとり、先生自身もモチベーションも上げていき、楽しく仕事ができるようになれば良いと思いました。 							
施 設 設 備 に し て	①	学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている	9	41	50	50	50	C
			8	58	32	66	35	C
	生②	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	51	35	10	86	14	A
			52	31	13	83	17	A
	保②	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	28	51	17	79	21	C
			28	52	13	80	20	B
考察	トイレや水道など古さ生徒人数に対して少なさが課題となっている。しかし、市の方の協力により、北館3Fのトイレ改修やICTなどの設備についても整いつつある。教員の①の肯定意見が向上したのも設備が整いつつ成果と思われる。市の方々の協力に感謝しつつも、生徒の安全、学力向上のために必要なものは要望を続ける必要がある。							
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・水道、トイレなど、改善を要求していく。(管理職 事務職) ・破損しないような物の扱い方や指導、破損箇所がある場合は各自で修繕を心がける意識を持つ。(全職員) ・それぞれの分掌での必要物品の把握をし、順次整備していくことが望まれる(全職員) 							
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・前回も述べましたが、施設・設備が多少劣っていても、中身で勝負する若草中であり続けてください。 ・若草中学校も歴史の古い学校であるから、整備等が必要となっていくと思うが、全てを直してしまうのではなく、残せるところは残し多くの生徒を卒業させられる施設を保ってほしい。 							